

# プレス・板金ファクトリー通信 Vol.45

## プレ板コラム



皆さん初めまして。プレ板コラム初登場の業務部生産管理係の神林です。入社してまだ一ヶ月の新人なので、覚えることだらけで大変です。ですが、現場の仕事がスムーズに進むよう、日夜勉強中です！さて、私の趣味ですが意外とアウトドア派なんです。サイクリング、サバイバルゲーム、山登り、ランニング(最近はさぼってますが…)、ギター、読書などです。ここ1年くらいハマってるのが『サバイバルゲーム』。最近群馬県内にもサバゲーフィールドが増えてきましたね。まずサバイバルゲームってなに？ってところだと思いますが、簡単に言えば敵味方に分かれてエアガンで撃ち合いをする戦争ごっこです。もちろんBB弾に当たったら失格となります。きっかけは中学からの友達に誘われてやってみたところ、これが案外面白く、最初はレンタルでやっていたのが、今では銃、装備、通信機など揃えてしまいました。今、私が使っているエアガンなんです。電動式のアサルトライフルとガスのハンドガンを使用しています。どちらも東京マルイというメーカーでアサルトライフルはSCAR-L CQC。ハンドガンはHK45が愛銃です。ベルギーの銃メーカー、FNエルスタール社のシリーズで現在アメリカ陸軍のレンジャー部隊が試験運用している銃です。この銃は弾が出るバレルの部分のユニットが短く、室内や狭いところでの取り回しが楽ですね。HK45はドイツの銃メーカー、ヘッケラー&コック社の銃で、こちらは2007年にアメリカ市場向けに開発された民間モデルの銃ですね。もっと詳しく書きたいのですが、割愛させていただきます…サバゲーはいつも友人と誘い合わせて行くのですが、参加する人って若い子だけじゃないんですね。30代~50代の人達も結構います、むしろその年代の人が多かったです。そんないい歳の人達がゲームスタートの合図で一斉にダッシュして今日初めて顔を合わせた人同士で連携しながら相手の陣を取る。疲れますがとても楽しいです。最後に仕事ではまだまだ未熟者です、足りない部分や知らないこと分からないこと沢山ありますが、早く一人前になれるよう、精一杯努力していきたいと思っております。

## 板金加工ノウハウ講座 ~溶接は前準備が重要！！~

◎ 板金加工をする中で主作業だけが技術ではありません。板金加工をする前の準備が現場の技術を最大限に発揮してもらう為にも非常に大切です。今回は前回紹介した、サッカーボールの加工の前準備についてお伝えします。

今回、プレス板金ファクトリーでは更なる加工技術向上の為にVol.43で紹介した板金サッカーボールの溶接お見せすることはできませんでしたが、今回はその前準備についてご紹介いたします。難度の高いや異形状の溶接を行う際は、その前準備が必須となります。特に今回のような固定できない製品は治具を制作しないとイケません。そのポイントを3つお伝えします。



1. 形状に合わせた治具を制作する。その際は部品が動かないように固定し、尚且つ溶接をしやすい環境を作る。
2. 全体のバランスを調整しながら、五角形・六角形のピースを並べる。
3. 治具だけに頼るのではなく、職人が見た目の良さを考えて溶接の方法や位置を決めて行う。



前準備をしっかりとやることで職人の技術が活きてきます。また、治具の設計や製作もノウハウと言えます。

▲上：溶接用治具 下：ピース

## 今月のプレス・板金ファクトリー加工事例

◎ 日々の何気ない加工も少し視点を変えてみれば、工数削減やコストダウンにつながることは数多くあります。プレス・板金ファクトリーでは、日々の加工も決して「当たり前」と捉えず、日々チャレンジし、変化をしています！

### ペットボトル制作の続編。次工程を考慮したモノづくり

vol. 44号でお伝えしたペットボトルを板金加工プロジェクトの続編です。今回は筒部分の曲げ加工について3つのポイントでお伝えします。

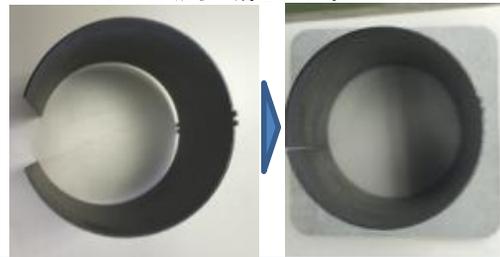
1. 曲げ加工は完全にパイプ状にならないように、あえて少し隙間が出来るようにする。
2. 隙間を開けることにより、治具にはめ込んだ際にキレイなパイプ形状となる。
3. 隙間なく加工をしてしまうと形状の矯正や補正などの自由度が損なわれる為、溶接に支障をきたしてしまう。

このように、プレス・板金ファクトリーの技術は次の工程のことを意識・考慮したモノづくりをしており、チームで製品の品質やコストを考えております。このように工夫することで余計な工数負担やお客様にも余計なコスト負担を省き、最善の提案を可能としております。

▼成功事例  
溶接用の治具に、はめ込むことでキレイなパイプ形状に矯正される。



▲失敗事例



## 「現品違い不具合」を完全未然防止！その方策とは？

◎ 「現品違い不具合」この不具合はお客様にご注文を頂いた製品では無いものを納品してしまうことを指します。当然、あってはならないことです。プレス板金ファクトリーの未然防止策をご紹介します。

プレス・板金ファクトリーで一日に加工・出荷される製品は数百点にも及びます。その中には類似品と呼ばれる形状や姿が似ている製品も多く存在しています。そして、特に類似品は現品違いしてしまう可能性も多く存在しています。

プレス・板金ファクトリーでは、現品違い不具合を防止するために加工工程部門、品質管理部門、業務管理部門で使用される①製造指示書②最終検査票③納品書の三種の伝票全てのバーコードを読み取り、現品が整合していることをタブレット端末で確認した上で出荷しています。

無論、1つでも不一致な場合、「エラー」表示となり、現品違いで出荷すること不可能なシステムを構築しています。



▲①製造指示書



▲②最終検査票



▲③納品書



▲タブレット端末

プレス・板金加工を通じて、お客様の利益を追求する  
ニュースレター

プレス・板金ファクトリー通信



プレス板金

検索



<http://www.pressbankin.com/>

発行元：株式会社 ニューテック

住所：群馬県伊勢崎市三空町4421-1

電話/FAX：0270-62-2872 / 0270-63-1161

URL：<http://www.newtec-inc.co.jp/>